

(別添 4)

【 山辺町 】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」の内容に基づき、全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びを推進していくためには、その基盤的なツールとしてICT環境は不可欠である。

GIGAスクール構想で整備した1人1台端末や通信ネットワーク等のICT環境をより効果的に活用することで、学校教育の質を高めるとともに、個別最適な学びと、協働的な学びの一体的な充実を目指していく。

2. GIGA第1期の総括

GIGAスクール構想の下、令和2年度から3年度にかけて、1人1台端末及び学校内のネットワーク環境の整備を行った。

現在、1人1台端末の授業や家庭に持ち帰っての活用は日常的になりつつあるが、学校、教職員間でのICT活用に当たってのスキルの差も一部見受けられる。現在町立学校3校に1人配置しているICT支援員からのサポートや、教職員のスキルにあわせた研修を実施するなどして、より効果的なICT活用を進めていく必要がある。

学校内のネットワーク環境については、時間帯や教室によって、一部ネットワークに繋がりにくい、通信が遅いと感じる学校があることから、ネットワークアセスメントの実施による課題の特定と、改善に向けた取り組みを図っていく必要がある。

また、1人1台端末の破損、不具合等が年々多くなってきているため、今後も適切な機器更新を継続的かつ定期的に行っていく必要がある。併せて、1人1台端末をより効果的に活用するため、大型提示装置（電子黒板）や、学習支援（授業支援）ソフトやデジタル教材などの整備も進めていく必要がある。

3. 1人1台端末の利活用方策

(1) 1人1台端末の効果的活用

1人1台端末の整備・更新と十分な予備機の整備により、児童生徒の1人1台端末環境を引き続き維持していくとともに、大型提示装置（電子黒板）や学習支援（授業支援）ソフト、デジタル教科書等のデジタル教材の整備と活用を推進していく。また、授業や校外学習、家庭学習など様々な場面での1人1台端末の活用を、ICT支援員を活用しながら推進していく。

(2) 個別最適な学び、協働的な学びの一体的な充実

各種学習支援ツールや個々の習熟度によって出題される問題の難易度が変わるAIドリル等の活用により個別最適な学びを充実させていく。また、学習支援（授業支援）ソフト等の活用により、個々の考えを可視化し共有化することを通じ対話的で深い学びとしていく協働的な学びも一体的に充実させていく。

(3) 学びの保証

ICTを活用し、様々な理由で登校が難しい児童生徒や、障害等により特別な配慮や支援が必要な児童生徒に対するきめ細やかな対応を行い、すべての子どもたちの学びの機会を保障していくことを目指す。